

研究区分	教員特別研究推進 国際共同研究・国際交流の促進
------	-------------------------

研究テーマ	米国 聖アンソニー看護大学・OSF ヘルスケアシステムとの教育・臨床・学術を通じた交流の促進と教職員のプロフェッショナルディベロップメント				
研究組織	代 表 者	所属・職名	看護学部・教授	氏名	竹熊 カツマタ 麻子
	研究分担者	所属・職名	看護学部・教授	氏名	山下 早苗
		所属・職名	看護学部・助教	氏名	丸山 始美
		所属・職名	看護学部・助教	氏名	池田 麻左子
	発 表 者	所属・職名	看護学部・教授	氏名	竹熊 カツマタ 麻子

講演題目
米国 聖アンソニー看護大学・OSF ヘルスケアシステムとの教育・臨床・学術を通じた交流の促進と教職員のプロフェッショナルディベロップメント
研究の目的、成果及び今後の展望
本研究の目的は静岡県立大学の国際力を高め、学部ならびに研究科、教職員の国際交流を促進させるために米国の聖アンソニー看護大学・OSF ヘルスケアシステムとの教育・臨床・学術を通じた交流を行うことにある。また、聖アンソニー看護大学との部局間協定の締結についても推進をする。 成果 令和6年5月～6月 聖アンソニー看護大学（米国イリノイ州ロックフォード市）から角田みなみ講師が本学を訪問、 教員と臨床家との交流、部間協定に向けての調整、静岡県立看護大学助教2名、県立こども病院臨床看護師2名の臨床研修実施の準備を実施した。また6月にはウィスコンシン大学看護学部からシャツキ恭子講師が本学を訪問、米国での教員・臨床家研修についてのヒアリング調整を行なった。 令和6年7月中旬から7月末 静岡県立大学 看護学部 助教2名・静岡県立こども病院看護師2名は聖アンソニー 看護大学、OSFヘルスケアシステムを訪問。臨地見学、看護教員との意見交換、各教員の研究課題に関する研修を実施した。助教2名は各々の研究テーマについて米国での実践のあり様について学ぶことが出来た。何よりも貴重であったことは、学術関係者のみではなく、臨床家や民間の施設、NPO法人などとのコラボレーションを通じ、日本国内では経験できない交流が叶い、また今後の交流について発展的な関係創りが出来たことである。 研究者が米国において勤務経験のある看護大学、および医療法人との関係構築を行うもので、県立大学と先方の看護大学を知る教員が中核となり相互の国際交流を進めていくことが益々期待されている。 今後、本学の教職員ならびに静岡県立病院機構等の県の臨床家(看護職)にも国際研修の機会がひろがり、リーダーシップの開発醸成に貢献であろう。2025年度は聖アンソニー看護大学との部局間協定締結についてさらに推進の予定である